

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		SteadyStep		公表日		2025年 3月 31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	1	活動内容により、安全性に留意し広く使えるようスペースを確保している	個別のプログラム実施時は充分であるが集団プログラムで運動、ダンス等の活動には少々狭い	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12		利用者2名に指導員1名での配置で対応 強度行動障がい傾向のある利用者には1対1で対応している		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12		自発的に行動できる動線に環境設定している	清掃チェックリストを作成し、清掃を実施している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12		落ち着いて活動に集中できるように隣席との間に仕切りがついた机を使用している	空気清浄機を設置している	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12		パニック状態になっている時にクールダウンするため相談室、事務所を利用できるようにしている		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	12		送迎後のミーティングでその日の振り返りを行い、改善点や注意点などの情報を共有している	出勤日ではない職員には業務日誌、連絡帳控え等で情報共有出来るようにしている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12		職員会議などで内容を把握し業務改善につなげている	参加できない職員には業務日誌、連絡帳控え等で情報共有出来るようにしている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12		職員会議、ミーティングで意見交換を行い改善につなげている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		12	未受信		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12		毎月テーマを決めて研修を実施し、研修報告を義務付けている		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12		ガイドラインに沿った支援プログラムを適切に作成公表している		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	12		サービス見直し時期に、保護者、利用者に関き取りを行いニーズ、課題の分析をした上で作成している		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12		個別支援会議を開催し、課題の整理、長短期の目標、達成時期等を共通理解し、検討している		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12		個別支援計画を職員間で共有し、支援前に再度支援内容、支援方法を確認し支援している		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12		業務日誌や連絡帳などにより、日々の行動や前回の様子を確認している		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12		個別支援会議を開催し、課題の整理、長短期の目標、達成時期、5領域に沿った支援内容、支援方法等の項目が適切、具体的に設定されている		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12		職員会議で意見を出し合って活動プログラムを毎月作成している		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12		マンネリ化しないように、職員会議以前にプログラム案を提出している		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	12		個別プログラム（パソコン、宿題、プリント学習）集団プログラム（SST、工作、調理、運動、外出等）を組み合わせ支援している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	1	出勤時間が違ったり、送迎に出てしまう職員が多いため申し送り（紙ベース）での確認を行っているが、必要に応じて口頭で支援前に行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12		その日の支援の振り返り、問題点、注意点や気付いた点、ヒヤリハット等を共有し参加できない職員は、業務日誌で共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12		業務日誌、事故報告、ヒヤリハットに記録し職員会議で検証し改善につなげている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12		定期的に支援会議を開催しモニタリングを行い適切な見直しを行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	12		ガイドラインに沿った基本活動を組み合わせ支援を実施している	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	12		決められたことはやらなければいけないが、どうしたいのか、どんな方法ならやれそうなのか考え、気持ちを伝えられよう支援している	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	1	管理者やその子供を理解している担当者が参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	1	相談支援事業所や学校の担任、他事業所の職員と送迎時に情報交換し連携に繋げている	他事業所との支援計画等情報交換が難しく連携するまでには至っていない。学校は教育委員会の方針が判断できず保護者を通しての情報共有になっている
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	12		学校の担任と送迎時に情報共有して連絡の調整を行っている 年間計画は保護者を通じて情報を得ている	学校によっては情報共有を嫌がり保護者を通じて情報を得ようと言われることがある
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10	2	保育園や幼稚園との情報共有、支援内容は保護者からの情報を得ている 情報共有、相互理解はできていない	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		12	該当者がいない	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	11	1	児童発達支援センターと情報共有はしているが、助言や研修を受けるまでには至っていない	セルフプランが多数で、児童発達支援センターを利用しているのは数人しかいないのが現状で利用計画書も作成されていない
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	10	2	祝日や長期休みの際に地域の児童館を利用するときなどに他児と活動することがある	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	12		管理者が参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12		面談や連絡帳、送迎時に今日の様子や出来たことや活動の様子を伝えるなど現状や課題について共通理解を持てるように努めている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	2	都、市が企画している研修のお知らせを配布し家族が参加できる研修の機会や情報提供をを丘になっている	
関	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12		契約時に運営規定、支援プログラム、利用者負担、重要事項説明書で理解出来るように丁寧な説明を心掛けている又見学、体験時にも大まかな説明を丘になっている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12		子供の意思や考えを聞き取り保護者が課題と思っていること、改善点を事前に書面で確認し子供の思いを最優先にしている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	12		個別支援計画を提示して支援内容、支援方法目標の達成率、長短期の目標等項目ごとに説明し同意を得ている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12		面談時に困りごとの適切な助言を心掛けている。又、電話での相談にも応じ適切な助言と支援を丘になっている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	9	3	仕事を持っているお母さんが多いため日程調整が難しいため学校の長期休みや祝日に事業所参観や親子遠足を企画し、親同士の交流する機会を設けている。外出先の学童クラブ等で兄弟同士で交流できる機会を提供している	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12		苦情について職員会議、苦情委員会等で内容を精査し適切な対応を講じ、保護者、利用者に状況説明をするなどして迅速な対応を行っている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	12		ホームページに毎月の予定表（プログラム）掲載し、配布しSNSに活動の様子を掲載するなど連絡体制等の情報を発信している	ホームページ、SNSの存在を周知してもらう為掲載のお知らせを、発信を各月実施する
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12		鍵の掛かる書庫には保管し、必要な書類などはその場で閲覧し持ち出しは禁止。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12		利用者の理解しやすいツールを通して気持ちを汲み取り意思の疎通、伝達のために配慮し、送迎時や連絡帳等で保護者との意思の疎通情報伝達に押領している	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10	2	事業所見学や避難訓練などの依頼はしているが見学には至ってはいない	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12		見学体験時、契約の際に各マニュアルが策定されマニュアルに準じて必要な訓練をこなっている事を説明している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12		定期的に訓練を実施している 業務継続計画は策定済	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12		保護者からの情報を得て個別支援計画に処置方法、症状について留意点をきあしている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		12	食物アレルギーのある子はいるが、医師の指示書が必要な重症ではない	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12		毎月の研修計画に組みこんでいる 安全装置を送迎車に設置し、乗車、降車人数使用目的を車両使用書に記入している	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	1	安全装置を送迎車に設置し、車両使用書に乗車時刻と人数、降車時国と人数を記入し安全確保している 契約時、見学の際に伝えている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12		毎月の職員会議で検証して再発防止に努めている	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12		毎月の職員研修に組み込み、研修報告書を義務付けている		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	12		身体拘束を必要とする対象者がいない		